

『改革の努力なくして 発展なし』



昨年10月に開催した海外食品輸出商談会

県内特産品の地産地消を推進 〜鹿兒島ブランドショップの活用〜

鹿兒島市名山町の県産業会館一階にある「鹿兒島ブランドショップ」では、工芸品や食品など約1,600品目を展示・即売し、新規性・話題性・季節性のある商品のPRや発掘に努めています。県内外からの観光客、ビジネスマンや流通関係者など、年間、約3万3千人の方が来店され、本県特産品に関する情報の受発信拠点として、また、百貨店・量販店のバイヤーとの商談の場として活用しております。特産品や地域の紹介・宣伝、販路開拓に、是非、ブランドショップをご利用ください。

はばだけ特産品〜かごしま遊楽館 「工芸品ギャラリー」の活用

東京有楽町のかごしま遊楽館の3階に鹿兒島ブランドショップ東京店工芸品ギャラリーがあります。約28㎡の広さで、個展はもちろん、グループ展などにもご利用いただけます。是非、積極的に活用ください。

「安全」・「健康」への関心の高まりを 追い風に売り込みましょ

5月24日の第18回通常総会では、多数の会員の皆様のご出席のもと、平成19年度事業計画などの議案をすべて承認いただきました。誠にありがとうございました。

昨今、産地偽装や牛肉偽装表示など消費者の不安を招くような問題が露見する中、消費者の「安全」「健康」に対する関心はますます高まっております。本県にはこれらの消費者ニーズに適合した特産品が多数ありますので、それらを鹿兒島の食文化・生活文化とともにさらに売り込んでいくことが必要だと考えております。19年度も、会員の皆様との連携を密に図りながら、各種事業を進めてまいりたいと考えております。

消費者の声をかたむけて

協会では、県外の百貨店などで物産観光展を開催しております。物産観光展は、会場内で試飲・試食や実演等を行うことにより、商品の良さを消費者へ直接紹介できます。また、お客様やバイヤー等から直接意見を聞くことで、商品の評価や消費者ニーズなどを把握することができ、商品の改良や新商品開発などにも活かされます。

平成19年度は、「元氣印かごしま」をテーマに、話題性や新規性のある商品を取り入れて実施いたします。

新商品などの売り込みや出展についての要望は、随時、協会までお寄せください。

秋以降の物産観光展の開催予定です。

今からでも間に合います。出展の要望や提案したい商品の情報については、随時、協会までお寄せください。

開催地	会場	開催時期
福岡県北九州市	(株)井筒屋黒崎店	平成19年10月上旬
千葉県千葉市	(株)三越千葉店	10月中旬
北海道札幌市	(株)東急百貨店札幌店	11月上旬
福岡県北九州市	(株)井筒屋小倉店	平成20年1月上旬
福岡県福岡市	(株)三越福岡店	2月上旬
東京都豊島区	(株)東武百貨店池袋店	2月下旬
神奈川県横浜須賀野市	株さいか屋横須賀店	3月上旬
愛知県名古屋市中区	(株)丸栄	3月中旬

※開催時期は、会場側の都合により変更することがあります。



5月中旬に開催された大丸神戸店での物産観光展会場風景

国内量販店・業務店への売込み

百貨店、量販店および業務店などから商談が年に数件あり、基本的には買取を条件に斡旋しております。平成18年度は、国内においては、百貨店、量販店、問屋等計47社に、県内延べ23社の商品を紹介・斡旋しました。

海外への売込み

香港、台湾など東南アジア諸国や米国などへの輸出も行っております。輸出については、いくつかの規制があり、外国語シールの貼付などの作業は必要になります。国内の商社がシールを作成し、そこを介して輸出するため、リスクもほとんどなく、それほど難しいものではありません。

国内向け、海外向けにかかわらず、商談は随時行っているため、会員の皆様には、毎年、見積書(斡旋台帳)をご提出いただいております。

未提出の方や、新商品、改良した商品などを売り込みたい方は、積極的に協会事業部流通企画課(TEL099-223-9177)にご相談ください。

読者だより

前号へのご意見などを
お寄せいただきましたので、
その一部をご紹介します。

●表紙の茶畑の写真とかごしまのお茶についての説明文章があったが、旬のものであり、改めて知るきっかけにもなり、良かった。表紙はとても大事です。旬、話題等タイムリーに掲載していけば良いと思う。

(市職員)

●「元氣印の仲間達」に取り上げていただき、いろんな方から引き合いがきました。感謝しています。

(竹製品製造業)

●物産展への継続出展により、唐木仏壇の人気の高い関東で、塗りの川辺仏壇への関心も少しずつ高まっています。今後も、基本を大事に現代の生活様式に適合した製品を作っていきたいです。

(川辺仏壇製造業)

●鯉節伝来300年のPRを兼ね日本橋三越展に出展したところ、鯉節が予想以上に売れた。鯉の刺身の試食販売も好評で、会期中、2、3回購入されるお客様もあられた。

(地域団体)

●「着てみたい」と声をかけてくださるお客様にお会いできることが、物産展での何よりの喜びです。また、(協会だより)に鹿兒島弁での楽しい言葉遊びなどをのせてくださると話題になると思います。

(大島紬製造業)

●神戸大丸展は、39年の歴史が物語るとおり、活気あふれる物産展であった。土日は神戸祭と重なり、大勢のお客様が来店くださったが、全体的な購買につながらなかったのは残念であった。

(工芸品製造業)

●ユニーとの商談会に初めて参加した。準備を含め協会の方々のご苦労のおかげで盛況裡に終わりました。感謝しています。

(菓子製造業)

貴重なご意見、誠にありがとうございました。楽しめる紙面づくりの参考にさせていただきますので、今号へのご意見・ご感想をどしどしお寄せください。